

教科	理科		科目	物理基礎	
単位数	2単位	開講年次	3	使用教材	教科書、問題集
分類・帯	P1				
科目説明	物体の運動とさまざまなエネルギーを理解するとともに、波や電気の性質を知る。				
選択生徒像	工業系の専門学校や大学に進学する生徒が選択することが望ましい。 数学が得意で、二次方程式を解ける学力があること。				
選択条件	地学基礎か物理基礎のどちらかを選択すること。				
備考	なし				
目標	日常生活や社会との関連を図りながら物体の運動と様々なエネルギーへの関心を高め、目的意識をもって観察、実験などを行い、物理学的に探究する能力と態度を育てるとともに、物理学の基本的な概念や原理・法則を理解し、科学的な見方や考え方を養う。				
評価方法	知識・技能:思考・判断・表現:主体的に学習に取り組む態度=4:3:3 (定期考査・課題テスト・ノート点検・各種課題や実験・授業態度)				
学期	月	単元		指導内容	
前期	4	第1章 物体の運動 第1節 運動の表し方①		等速直線運動や相対速度を理解する。	
	5	第1章 物体の運動 第1節 運動の表し方②		等加速度直線運動や落下運動を理解する。	
	6	第1章 物体の運動 第2節 力と運動の法則①		力の合成・分解や力の釣り合いを理解する。	
		前期中間考査			
	7	第1章 物体の運動 第2節 力と運動の法則②		運動の法則を理解する。	
		9	第2章 エネルギー 第1節 運動とエネルギー①		仕事とは何かを理解する。
前期期末考査					
後期	10	第2章 エネルギー 第1節 運動とエネルギー②		力学的エネルギー保存の法則を理解する。	
	11	第2章 エネルギー 第1節 熱とエネルギー		熱と仕事の関係を理解する。	
	後期中間考査				
	12	第3章 波 第1節 波の性質		波の性質や波の重ね合わせの原理を理解する。	
	1	第3章 波 第2節 音と振動 第4章 電気 第5章 物理と社会		弦や期中の振動を理解する。 電気の利用を中心に、エネルギー利用のあり方を理解する。	
		2	学年末考査		
3					